

第2期 入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略
各基本目標の指標及び基本施策のKPI目標値達成状況推移

現状値より
上昇(改善)

現状値より
減少(悪化)

評価凡例

- 1：かなり努力を要する（数値が目標から遠く、かつ改善の兆しが見られない）
- 2：努力を要する（目標値には届かず、改善傾向が鈍化・横ばい）
- 3：順調（目標値に近づいており、改善傾向にある）
- 4：達成（目標値を上回っている・高水準で推移）

各基本目標の指標及び基本施策のKPI目標値達成状況推移								令和4～6年度 中間総括				
指標・重要業績評価指標（KPI）	現状値	R4末	R5末	R6末	R7末	R8末	目標値（R8）	評価	評価理由	担当課・室		
指標	市内事業所数	4,713事業所 (H28)	4,743事業所 (R03)	4,743事業所 (R03)	4,743事業所 (R03)	-	-	現状値以上	4	中小企業者の事業に必要な資金の円滑な調達や、設備投資資金の確保などの支援する制度融資について、融資実行までの期間を短縮するよう令和5年度から運用を見直した。また、空き店舗を活用する事業者への補助する空き店舗活用創業支援補助金の補助対象を令和4年度に「空き店舗を活用して創業する者」から「空き店舗を活用する者」に拡大し、市内事業者の経営安定を支援した。	商工観光課	
	市内従業者数	50,018人 (H28)	55,001人 (R03)	55,001人 (R03)	55,001人 (R03)	-	-	現状値以上	4	中小企業者の事業に必要な資金の円滑な調達や、設備投資資金の確保などの支援する制度融資について、融資実行までの期間を短縮するよう令和5年度から運用を見直した。また、空き店舗を活用する事業者への補助する空き店舗活用創業支援補助金の補助対象を令和4年度に「空き店舗を活用して創業する者」から「空き店舗を活用する者」に拡大し、市内事業者の経営安定を支援し、雇用の増進に寄与した。	商工観光課	
しごとの場を創る・しごと探しを支援する												
重要業績評価指標（KPI）	1-①	市内工業団地の事業所数	264件 (R2)	269件	261件	262件	-	-	270件	3	事業に必要な資金の円滑な調達や、設備投資資金の確保などの支援する制度融資について、融資実行までの期間を短縮するよう令和5年度から運用を見直した。また、市HPにて空き工場等に関する情報を提供し、令和5年度には入間市商工業振興助成制度を改正し、パンフレットを作成し周知を行った。	商工観光課
	1-②	創業支援による創業者数	年間20名 (R2)	年間8名	年間11名	年間11名	-	-	年間25名	2	コロナ禍以降創業者が減少したが、徐々に回復傾向にある。産業競争力強化法に基づく「創業支援等事業計画」を令和6年度に変更し、認定連携創業支援等事業者に西武信用金庫を加え、創業支援体制を強化した。	商工観光課
	1-③	雇用対策事業の実施回数	年間23回 (R2)	年間29回	年間31回	年間31回	-	-	年間30回	4	令和5年度から埼玉県等と連携した就職面接会を実施し、雇用機会の創出を図った。また、令和6年度から就職支援セミナーについて、ハローワーク所沢の公式LINEにて告知いただく等周知活動に注力した結果、参加者が前年と比較し大幅に増加した。	人権推進課 商工観光課
地域産業を振興する												
重要業績評価指標（KPI）	1-④	農用地利用権設定の面積	113.2ha (R2)	127.5ha	139.1ha	150.1ha	-	-	150.0ha	4	農地所有者に対して、JAを通じて農用地利用権設定について定期的に周知を行い、借受を希望する担い手とのマッチングを図ることができたため。	農業振興課 都市計画課
	1-⑤	市の支援を受けて活用された空き店舗の数	- (新規)	7件	4件	5件	-	-	8件	3	令和4年度に空き店舗活用創業支援補助金の補助対象者を「空き店舗を活用して創業する者」から「空き店舗を活用する者」とするよう要綱を一部改正し、補助対象者を拡大した。チラシ・パンフレットを作成し、市内金融機関、不動産業者、商工会の他、日本政策金融公庫や公益財団法人埼玉県産業振興公社などの連携機関へ送付し広く周知した。	商工観光課

第2期 入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略
各基本目標の指標及び基本施策のKPI目標値達成状況推移

現状値より
上昇(改善)

現状値より
減少(悪化)

- 評価凡例
- 1：かなり努力を要する（数値が目標から遠く、かつ改善の兆しが見られない）
 - 2：努力を要する（目標値には届かず、改善傾向が鈍化・横ばい）
 - 3：順調（目標値に近づいており、改善傾向にある）
 - 4：達成（目標値を上回っている・高水準で推移）

各基本目標の指標及び基本施策のKPI目標値達成状況推移								令和4～6年度 中間総括		
指標・重要業績評価指標（KPI）	現状値	R4末	R5末	R6末	R7末	R8末	目標値（R8）	評価	評価理由	担当課・室
指標 定住意向	78.1% (R1)	— (参考:市政意向調査82.1%)	— (参考:市政意向調査79.2%)	77.8%	—	—	現状値以上	2	令和6年度市民意識調査の結果から、年齢や居住地区問わず、全体的に定住意向が減少傾向にあることから左記のとおり評価した。上記調査結果から公共交通機関や道路網への不満により、買い物などの日常生活が不便であるとの回答が多く寄せられている印象であり、これらは特に高齢者の意見が消極的であり、「住みよさ」「定住意向」の満足度が下がった一因であると思われる。また、子育て世代に注目すると、住み続ける理由に「子育て環境の充実」が挙げられていないことから、「安心して子育てができるまち」というニーズに対して応えていき、長期的な定住人口の維持や増加に向けた施策を引き続き展開していく必要がある。	企画課未来共創政策推進室
若者の定住を推進する・親子の同居・近居を促進する・子育て世代の移住を促進する										
重要業績評価指標（KPI） 2-①	20歳から29歳までの社会移動数 △258人 (R2)	△176人	△338人	△371人	—	—	△140人	1	令和4年度以降、減少傾向が続いており、令和2年度の現状値を下回る状態になっているため、左記の評価とした。PRするだけでなく、「住みよさ」を創っていく事業も必要であると考え。実際に転出していった市民の声を聞くなど、転出の要因について分析し、対応策を講じる必要がある。	企画課未来共創政策推進室
2-②	30歳から49歳までの社会移動数 9人 (R2)	181人	60人	50人	—	—	100人	2	令和2年度の現状値から見ると改善されてはいるが、令和5年度以降、減少傾向が続いているため、左記の評価とした。数値としては低いが、転入超過ではあるため、転入先として選ばれた理由を分析し、その部分についてPRを強化していく。	企画課未来共創政策推進室
2-③	市と金融機関の提携住宅ローンの融資件数 31件 (R2)	33件	20件	40件	—	—	現状値以上	4	定住するための土地・建物購入資金、建物新築資金、付帯費用が対象となる他、中古マンションの購入やリフォーム資金などに幅広く活用できるため融資件数が増加したと推察できる。	都市計画課

第2期 入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略
各基本目標の指標及び基本施策のKPI目標値達成状況推移

現状値より
上昇(改善)

現状値より
減少(悪化)

- 評価凡例
- 1：かなり努力を要する（数値が目標から遠く、かつ改善の兆しが見られない）
 - 2：努力を要する（目標値には届かず、改善傾向が鈍化・横ばい）
 - 3：順調（目標値に近づいており、改善傾向にある）
 - 4：達成（目標値を上回っている・高水準で推移）

各基本目標の指標及び基本施策のKPI目標値達成状況推移								令和4～6年度 中間総括				
指標・重要業績評価指標（KPI）	現状値	R4末	R5末	R6末	R7末	R8末	目標値（R8）	評価	評価理由	担当課・室		
指標	合計特殊出生率	1.15 (R1)	0.99	0.95	未発表	—	—	1.18	1	減少傾向が継続しており、施策の効果が出ているとは言い難い状況である。市で子どもを産み育てようと思える環境を整え、PRしていく必要がある。	企画課未来共創政策推進室	
	保育所など子ども・子育て支援のための施設や体制の満足度	0.046 (R1)	— (参考:市政意向調査0.158)	— (参考:市政意向調査0.104)	0.204	—	—	0.052	4	全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機関として「こども家庭センター」を設置した。また、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業の実施場所を増やし、地域で子育てしやすい環境づくりを促進した。	こども支援課こども政策室 学校教育課	
重要業績評価指標（KPI）	出会いや結婚の希望をかなえる											
	3-①	婚活イベント支援件数	0件 (R2)	6件	3件	2件	—	—	年4件	1	主要連携先プリーツが2025年5月に閉鎖となり、事業の継続性確保と新たな連携先の模索が急務となっている。県の支援イベントを活用するほか、民間企業との連携を視野に入れて婚活支援を実施していく。	企画課未来共創政策推進室
	子育てをサポートする											
	3-②	保育所等の低年齢児の入所と待機児童の割合	98.5% (R2)	99.3%	97.5%	98.0%	—	—	100%	3	待機児童数は増減を繰り返しているが、割合としては概ね目標値に近づいていると判断した。	保育幼稚園課
	3-③	学童保育室待機児童数	103人 (R2)	21人	83人	35人	—	—	0人	3	令和4年度からの豊岡・東金子・高倉学童保育室の校舎内統合化及び藤沢北学童保育室の学校敷地内への移設に合わせ整備を進めることで待機児童対策を図った。また、令和4・5年度の民間学童保育室の拡大により、公設以外の学童保育室においても待機児童対策を図った。これにより、入室児童数は令和3年度1,064人から令和6年度には1,127人に拡大している。一方で需要の高まりから申込数も拡大しており、待機児童は発生し続けている状況から、更なる対策を進めていく必要がある。	青少年課
3-④	今後も入間市で子育てしていきたい方の割合	95.6% (R2)	93.2%	57.1%	93.0%	—	—	現状維持	2	令和6年10月から、子ども医療費の対象年齢拡大等、子育て家庭への経済的支援を向上させた。その一方で、一部年代の満足度が低下しており、各種補助や給付が東京都等の近隣より少ないこともひとつの要因であると推測している。	こども支援課こども政策室	
重要業績評価指標（KPI）	子どもの生きる力を育む・子どもによるまちづくりを推進する											
	3-⑤	小・中学校の施設や教育内容に対する市民満足度	0.111 (R1)	0.164	0.164	0.206	—	—	0.161	4	現時点で目標値を上回っている。特に教育内容については、子供たちの心理的安全性を担保した学習環境のもと、小・中学校共に協働的な学びを中心とした授業改善により、主体的に学習を進めることができている。施設面では、トイレの改修など課題は残るが、家庭・地域の協力のもと、きれいに使用できている。	教育総務課 学校教育課
	3-⑥	中1ギャップ問題の状況（不安の解消率）	84.0% (R1)	80.0%	80.0%	75.0%	—	—	90.0%	2	現状は目標値には届かず改善傾向は横ばいとなっている。各中学校区を中心とした小中一貫教育の推進として、取組を行っている。今後は中学校1日体験入学などが行われる1、2月をめどに、不安が解消された好事例を学校に伝えてより良い活動につなげる。	学校教育課
	3-⑦	子どもたちのまちづくりへの参画機会数	年2件 (R2)	2件	2件	5件	—	—	年3件	4	デジタルツールの普及や、市立小・中学校において児童生徒が使用しているタブレット端末に市との連絡用アプリを導入したこと等により、子どもたちに直接コンタクトを取りやすい状況になっている。	企画課
3-⑧	居場所づくり事業の参加人数	7,525人 (R2)	12,177人	15,674人	19,271人	—	—	18,440人	4	居場所づくりを行っている団体の物価高騰に伴う経済的負担を緩和させるため、補助金交付を行ったり、居場所づくり団体を支援する、中間支援団体の育成などを行い、持続可能な居場所づくりの推進を行った。	こども支援課こども政策室 青少年課 学校教育課 社会教育課	

第2期 入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略
各基本目標の指標及び基本施策のKPI目標値達成状況推移

現状値より
上昇(改善)

現状値より
減少(悪化)

- 評価凡例
- 1：かなり努力を要する（数値が目標から遠く、かつ改善の兆しが見られない）
 - 2：努力を要する（目標値には届かず、改善傾向が鈍化・横ばい）
 - 3：順調（目標値に近づいており、改善傾向にある）
 - 4：達成（目標値を上回っている・高水準で推移）

各基本目標の指標及び基本施策のKPI目標値達成状況推移								令和4～6年度 中間総括			
指標・重要業績評価指標（KPI）	現状値	R4末	R5末	R6末	R7末	R8末	目標値（R8）	評価	評価理由	担当課・室	
指標	住みよいと感じる人の割合	77.7% (R1)	- (参考:市政意向調査80.6%)	- (参考:市政意向調査81.4%)	77.5%	-	-	80.0%	2	令和6年度市民意識調査の結果から、年齢や居住地区問わず、全体的に定住意向が減少傾向にあることから左記のとおり評価した。 上記調査結果から公共交通機関や道路網への不満により、買い物などの日常生活が不便であるとの回答が多く寄せられている印象であり、これらは特に高齢者の意見が消極的であり、「住みよさ」「定住意向」の満足度が下がった一因であると思われる。また、子育て世代に注目すると、住み続ける理由に「子育て環境の充実」が挙げられていないことから、「安心して子育てができるまち」というニーズに対して応えていき、長期的な定住人口の維持や増加に向けた施策を引き続き展開していく必要がある。	企画課未来共創政策推進室
	入間市に対する誇りや愛着を感じる割合（※3）	41.8% (R1)	-	-	41.7%	-	-	45.0%	2	現状値から数値が横ばいであり目標値に届いていないことから、現施策の効果が限定的であったと考えられる。市民に向けた更なる市の魅力発信や市民参加型事業を通じ、誇りや愛着醸成に向けて取り組む必要がある。	企画課未来共創政策推進室
安全で快適な住環境の形成											
重要業績評価指標（KPI）	4-① 日常生活の便利さの市民満足度 ※市民意識調査における ①「上水道による水の安定供給」 ②「鉄道利用の便と路線網」③「バス利用の便と路線網」④「信号機・ガードレールなどの交通安全施設」 ⑤「地震や風水害などの防災対策や体制」 ⑥「防犯灯などの防犯施設や体制」 ⑦「消防・救急施設や体制」⑧「市民会館などの文化施設や文化活動内容」 ⑨「自治会等のコミュニティ活動への支援」 ⑩「買い物・金融機関など日常生活の便利さ」 の10項目の満足度の平均。	0.3045 (R1)	-	-	0.3835	-	-	0.35	4	①管路の更新や耐震化を計画的に実施しているため。	①上下水道経営課 ②～③都市計画課 ④、⑥～⑦市民安全課 ⑤危機管理課 ⑧～⑨地域振興課 ⑩商工観光課
									4	②鉄道運行事業者が利用者のニーズに応じた利便性の高い運行を行っていることが要因であると推察する。運行事業者等と連携し、持続可能な公共交通網の構築に努める。	
									1	③コミュニティバス、路線バスともに利用者のニーズに応じた利便性の高い運行が行われていないことが要因であると推察する。ルート及びダイヤの見直しや新たな交通モードの検討を行い、運行事業者等と連携し、利便性の高い公共交通サービスを提供するとともに効率性の向上及び持続可能な公共交通網の構築に努める。	
									4	④生活環境項目の満足度と重要度では32位から21位へと順位が上がり特に18歳～29歳までの若い世代の交通安全施設に対する関心が高くなっている。今後も安全教室などを通じ交通安全に関心を持っていただくよう心がけたい。	
									3	⑤実災害に対応しうる防災訓練や啓発をおこなっており自主防災会を中心に少しずつご理解いただき防災訓練に参加していただいている。ただ、とても重要・やや重要との回答が80%弱となり防災に関する関心の高さがうかがえるが、満足度に関しては約50%が「どちらともいえない」となっており市民の方々さらにわかりやすく理解を深めていく必要がある。	
									4	⑥「防犯灯などの防犯施設や体制」 LED防犯灯による安定した明かりの提供を引き続き取り組んでいく。	
									4	⑦「消防・救急施設や体制」 消防団員の技術向上、士気高揚、団体の一体感を醸成する機会を設け、消防団活動や地域消防力の充実強化を図っていく。	
									2	⑧文化施設のうち、市民会館については耐震性能の不足により令和3年度より閉鎖している。それにより、市民の活動が一部制約されているが、産業文化センターや文化創造アトリエにて、活動の場を確保している。文化活動としては、市民主体の文化活動である太鼓セッションや市民と行政の協働による入間万燈まつりについては、令和5年度にはコロナ禍から規模を戻しての開催ができ、市民による地域文化の創造や市民活動の推進を担っている。 今後も関係部署や機関、団体と協働し、市民会館については新たな場所への移転及び新設、文化活動についてはさらなる地域コミュニティの活性化や市民活動の推進に向けて取り組んでいく。	
									2	⑨埼玉県のコミュニティ助成事業を活用することで、入間市連合区長会をはじめとする各地区に対して、自治会活動に使用する備品の拡充を推進し、コミュニティ活動の発展を支援しているが、大きな効果に結びつけることは難しい。 今後も引き続きコミュニティ助成事業を活用して幅広い分野でのコミュニティ活動への支援を入間市連合区長会をはじめとした各自治会と調整の上で模索する。	
									3	⑩市民意識調査において、平均と比較し満足度は高い水準である。一方、東金子・金子地区ではスーパーや金融機関が非常に少ない等、地区ごとに大きく差があるのが課題である。	

第2期 入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略
各基本目標の指標及び基本施策のKPI目標値達成状況推移

現状値より
上昇(改善)

現状値より
減少(悪化)

- 評価凡例
- 1：かなり努力を要する（数値が目標から遠く、かつ改善の兆しが見られない）
 - 2：努力を要する（目標値には届かず、改善傾向が鈍化・横ばい）
 - 3：順調（目標値に近づいており、改善傾向にある）
 - 4：達成（目標値を上回っている・高水準で推移）

各基本目標の指標及び基本施策のKPI目標値達成状況推移								令和4～6年度 中間総括			
指標・重要業績評価指標（KPI）	現状値	R4末	R5末	R6末	R7末	R8末	目標値（R8）	評価	評価理由	担当課・室	
シティセールスの推進											
4-②	観光入込客数	5,267,956人 (R2)	6,069,801人	6,378,188人	6,393,422人	-	-	6,000,000人	4	市公式HPやSNSを通じて、観光資源やイベント情報を継続的に発信し続けた結果、市内外からの認知度が向上し、入込客数の増加に繋がった。	商工観光課
4-③	観光資源の活用と観光基盤の整備に対する市民満足度	-0.033 (R2)	- (参考:市政意向調査-0.0381)	- (参考:市政意向調査-0.069)	0.048	-	-	0.035	4	茶畑の景観を活用した茶畑テラス「茶の輪」の整備およびその運用に加え、観光振興を目的とした各種イベントの実施を通じて、観光資源の活用と観光基盤の整備に対する市民満足度が増加した。	商工観光課
広域エリアでの魅力アップ											
4-④	防災に関する都市間協定締結数	4件 (R2)	4件	4件	4件	-	-	5件	3	被災車両の移動や災害廃棄物の収集、損壊建物の解体や物資輸送などに関しての協定を結んだ。災害時に物流が途絶えた場合に市内の物資輸送に関するノウハウのある企業と提携し、災害時に物資を滞らず届けることができる体制整備が進んだ。	危機管理課
4-⑤	新たな都市間連携の検討件数	0件 (R2)	1件	0件	3件	-	-	2件	4	従前から姉妹都市や協定締結都市として交流があった3自治体を対象に、ふるさと納税制度を活用した代理寄附受付に関する事前同意を令和6年6月に締結した。（宮城県岩沼市、埼玉県幸手市、新潟県佐渡市）姉妹都市、災害時相互応援協定、連携交流協定を締結している自治体を対象とすることで、取組の趣旨を理解してもらい、迅速な取組開始に繋がった。	企画課